



## 安全で楽しい修学旅行でした

10月10・11日に6年生が、広島、香川方面に修学旅行に行きました。体調不良などで6年生全員が参加できなかったのは残念ですが、参加した子どもたちは、元気に2日間を過ごしました。

今年度から、修学旅行先を大分から香川に変更しました。大きな理由は二つありました。一つは、万が一の際、保護者の方の負担が大きいことです。新型コロナやインフルエンザなどの感染症にかかった場合、以前の宿泊先は山口県だったので、迎えには相当な時間が掛かります。今回は県内での宿泊だったので、2時間以内に対応できる環境にありました。幸い、今回は発熱などを訴える子はいませんでした。もう一つは、バスや船に乗っている時間が非常に長く、乗り物酔いの心配のある子にとっては大きな不安になっていたことです。今回、途中で気分が悪くなる子はほとんど見られず、コース変更の効果が見られたのではないかと考えています。

今回の修学旅行で感じたことを三つお伝えします。

一つめは、平和について考えることができたことです。子どもたちは、平和学習という目的をもって修学旅行に臨んでいました。思い出に残っていることを尋ねると、楽しいことだけではなく、原爆ドームや広島平和記念資料館の展示を見て感じたことも伝えていました。心に刻まれたことがたくさんあったようです。広島を訪れた翌日に、日本原水爆被害者団体がノーベル平和賞を受賞したことを覚えておくことも大事な平和学習につながるように思います。

二つめは、自分で選択して決める場面が多かったことです。宮島での買い物、レオマワールドでの食事やアトラクションでは、自分たちで考えて選択し、活動していました。それがとても楽しそうでした。昨年度に比べると、買い物や食事において選択肢が広がりました。もちろん、その前提としてルールを守ることが大事なのですが、それができる6年生だからこそ、よりよい活動につながったと思います。

三つめは、車内が大変盛り上がっていたことです。1から3号車、全て乗ったのですが、どのクラスのレクリエーション係も一生懸命頑張っていて、みんなを楽しませていました。学校に着くまで、元気な6年生でした。

家族や親類のため、一緒に活動している仲間のために、残りの金額を考えながらお土産を買う姿は、なんともかわいらしかったです。一方で「なんでこんなお土産を…」と思うこともありましたが、まだまだ無邪気な6年生。私の中では十分理解をしています。

